

— 目 次 —

政策提言の要約	1
1 高齢者の現状	2
2 高齢者の社会的孤立	2
3 なぜ高齢者の社会的孤立化がダメなのか？	3
4 一人暮らし高齢者に対する現在の取組	4
5 課 題	5
6 提 言	5
7 高齢者地域コーディネーター制度導入に伴う経費	11
8 制度導入後の効果について（介護保険給付費の推移）	12
9 支援を拒否する者に対する支援	13
10 まとめ	14



政策提言の要約

もう一人じゃない!

～「はざま」高齢者の社会的孤立化を防ぐシステムづくり～

1. 現状

一人暮らし高齢者や高齢者の世帯が増加している中、地域から孤立した高齢者が「生きがい」を無くし、引きこもりや生活機能の低下を招き、引いては「孤立化」が社会問題となっている。

特に介護保険その他の各種支援制度の対象とならない「はざま」高齢者は、必要なサービスが受けられないまま孤立してしまう状況が見受けられる。

2. 課題

- ①「社会的孤立化」予備軍の増加の阻止
- ②「はざま」高齢者に対するサポート体制の確立

3. 政策提言の視点

- ①地域の実情に応じたネットワークを形成する。
- ②できることから始める、今あるものを活かす。
- ③負担を少なく、長続きする形で実践する。

4. 政策提言

提言①

- 「高齢者地域コーディネーター制度」
 - ・「高齢者地域コーディネーター」条例の制定
 - ・「高齢者地域コーディネーター」を中心とした連携システムの確立

提言②

- ふれあいステーションの設置
 - ・地域コーディネーターの活動拠点
 - ・高齢者や異年齢間の交流拠点
 - ・中学校区に1か所程度の拠点施設

「はざま」高齢者を無くし、「生きがい」のある元気な高齢者社会の実現

介護予防の充実による要支援・要介護者数の抑制

介護保険給付費の抑制

「高齢者地域コーディネーター」制度の継続的な実施